

送付票(本状含め2枚)  
宛先 各医療機関  
各地区医師会・歯科医師会・  
薬剤師会  
各市町村  
各市町村教育委員会  
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成29年12月15日  
富士・東部保健所

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2017年49週(12月04日～12月10日)

### ○ 山梨県内流行情報

第48週から流行期入りとなりましたインフルエンザは、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内及び富士・東部保健所管内で患者数が急増しています。

感染性胃腸炎は、中北保健所管内、峡南保健所管内及び富士・東部保健所管内で報告数が増加しています。

また、百日咳は、峡東保健所管内で報告数は横ばいであり、引き続き警報レベルとなっています。百日咳は乳児期のワクチン接種が有効ですが、ワクチン接種歴のある子供や大人が感染すると症状が軽いため、百日咳の判断が難しい場合があるので注意が必要です。

流行期入りしたインフルエンザ予防のため、手洗い、うがいに努めましょう。また、症状がある場合には早めに医療機関を受診しましょう。

【今週の警報】: 百日咳(峡東保健所管内)

【今週の注意報】: なし

### ○ 富士・東部管内流行情報

現在、警報・注意報は出ておりません。

インフルエンザが流行期のため、今後も引き続き、マスクの着用や手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めましょう。また、体調が悪い時は無理をせず、早めに医療機関を受診しましょう。

### ○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	20127	4.06	2452	0.78	2585	0.82	9707	3.07	24683	7.81	1607	0.51
山梨県	137	3.34	22	0.92	6	0.25	63	2.63	157	6.54	2	0.08
中北	22	1.57	11	1.38	1	0.13	10	1.25	68	8.5	-	-
中北峡北	44	5.5	1	0.2	2	0.4	28	5.6	20	4	1	0.2
峡東	29	4.14	-	-	2	0.5	7	1.75	12	3	1	0.25
峡南	3	1	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	39	4.33	10	2	1	0.2	18	3.6	52	10.4	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2974	0.94	268	0.08	1344	0.43	35	0.01	362	0.11	930	0.29
山梨県	33	1.38	-	-	8	0.33	8	0.33	1	0.04	3	0.13
中北	16	2	-	-	4	0.5	-	-	-	-	2	0.25
中北峡北	2	0.4	-	-	1	0.2	-	-	1	0.2	-	-
峡東	7	1.75	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	7	1.4	-	-	3	0.6	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	593	0.85	10	0.02	9	0.02	178	0.37	3	0.01
山梨県	1	0.11	2	0.22	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	49週		48週		47週		46週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	増加しています	流行しています	3.34	137	1.41	58	0.49	20	0.1	4
RSウイルス感染症	やや増加しています	平年並みです	0.92	22	0.88	21	0.54	13	0.67	16
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.5	12	0.33	8	0.88	21
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.63	63	2.08	50	2.42	58	2.46	59
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	6.54	157	5.13	123	3.92	94	3.54	85
水痘	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.38	9	0.21	5	0.13	3
手足口病	横ばいです	平年並みです	1.38	33	1.54	37	1.42	34	1.54	37
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.04	1	0.08	2	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.38	9	0.13	3	0.33	8
百日咳	横ばいです	平年より多い発生数です	0.33	8	0.29	7	0.29	7	0.33	8
ヘルパンギーナ	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	0.33	8	0.13	3
急性出血性結膜炎	-	-	0.11	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.44	4	0.44	4	0.56	5
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.4	4	0.7	7	0.2	2	0.6	6
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	中北	女	46
二類感染症	結核	中北	女	84